

予 算 要 求 資 料

令和3年度当初予算 支出科目 款：総務費 項：企画開発費 目：国際化推進費

事業名 在京大使等県内魅力発信事業費

(この事業に対するご質問・ご意見はこちらにお寄せください)

商工労働部 観光国際局 海外戦略推進課海外政策係 電話番号：058-272-1111(内 2353)

E-mail：c11336@pref.gifu.lg.jp

1 事業費 662千円（前年度予算額：662千円）

<財源内訳>

区 分	事業費	財 源 内 訳							
		国 庫 支出金	分担金 負担金	使用料 手数料	財産 収入	寄附金	その他	県 債	一 般 財 源
前年度	662	0	0	0	0	0	0	0	662
要求額	662	0	0	0	0	0	0	0	662
決定額	662	0	0	0	0	0	0	0	662

2 要求内容

(1) 要求の趣旨（現状と課題）

宮内庁主催により、毎年長良川で行われる外交団招待鶺鴒の機会を捉え、平成8年度から本事業を実施してきたが、緊急財政再建期間における事業見直しの結果、平成20年度をもって休止となった。

しかし、事業休止後、在京大使館から再開を希望する声が多く寄せられ、宮内庁、外務省からも対日理解の深化を図る上で有意義な事業であるとの評価とともに、事業再開についての打診を受けた。また、東日本大震災及び福島原発事故後に、駐日米国大使や駐日仏大使が岐阜県を訪問され、岐阜への旅の安全性をPR頂いたことにより、多くの報道等が行われ、改めて在京大使等の影響力の大きさを再認識した。

当県では、平成21年度より「飛騨・美濃じまん海外戦略プロジェクト」を実施しているが、各国の代表として影響力のある在京大使等が岐阜県のファンとなり、様々な機会において岐阜県の情報を発信して頂くことは、当県が実施する海外戦略プロジェクトとの相乗効果により、より多面的に岐阜県の認知度を向上させることに繋がると期待できる。

また、本事業は、外交団招待鶺鴒とあわせて実施するため、参加する在京大

使等の来県費用や宿泊費を当県が負担する必要がなく、最小限の費用で最大の効果が上げられる。

上記のように関係者から高い評価や再開の要請を受けたこと、在京大使等の影響力、費用対効果などを総合的に再検討した結果、本事業を平成 24 年度から再開した。

(2) 事業内容

○事業目的

外交団招待鵜飼（宮内庁主催）に参加する在京大使等を県内の観光地や主要施設等に案内することにより、本県の魅力や施策・取組などを広く紹介し、本県に対する理解の促進及び各国とのネットワークの構築を図るとともに、海外からの観光客誘致の一助とする。

○事業内容

外交団招待鵜飼の翌日に、県内の観光地や主要施設等を案内するバスツアーを実施する（年 2 回）。

(3) 県負担・補助率の考え方

県内の魅力を発信する事業であるため、県負担は妥当。

(4) 類似事業の有無

なし

3 事業費の積算内訳

事業内容	金額	事業内容の詳細
旅費	19	打合せ旅費
消耗品費	72	土産代、コロナ対策消耗品
対外交流費	116	昼食代等
会議費	42	会議経費
役務費	22	案内状郵送代等
使用料	391	バス借上げ代等
合計	662	

決定額の考え方

事業評価調書（県単独補助金除く）

新規要求事業

継続要求事業

1 事業の目標と成果

（事業目標）

外交団招待鶉飼（宮内庁主催）に参加する各国大使等を県内の観光地や主要施設等に案内することにより、本県の魅力や施策・取組などを広く紹介し、本県に対する理解の促進及び各国とのネットワークの構築を図るとともに、海外からの観光誘客の拡大を図る。

（目標の達成度を示す指標と実績）

指標名	事業開始前	指標の推移		現在値	目標	達成率
				（前々年度末時点）		
外国人延べ宿泊者数	万人 (H -)	98 万人 (H29)	148 万人 (H30)	166 万人 (R1)	180 万人 (R7)	92.2 %

○指標を設定することができない場合の理由

（前年度の取組）

・事業の活動内容（会議の開催、研修の参加人数等）

新型コロナウイルス感染症拡大の影響により、外交団招待鶉飼（宮内庁主催）が中止となったことから、本事業も中止することとなった。

（前年度の成果）

・前年度の取組により得られた事業の成果、今後見込まれる成果

2 事業の評価と課題

(事業の評価)

<ul style="list-style-type: none"> ・ 事業の必要性（社会経済情勢等に沿った事業か、県の関与は妥当か） ○：必要性が高い、△：必要性が低い 	
(評価) ○	飛騨・美濃じまん海外戦略プロジェクトの対象国など、各国を代表する大使等に岐阜県の魅力を直接PRできる機会は、本事業以外になく、大変重要である。
<ul style="list-style-type: none"> ・ 事業の有効性（指標等の状況から見て事業の成果はあがっているか） ○：概ね期待どおり又はそれ以上の効果が得られている、△：まだ期待どおりの成果が得られていない 	
(評価) ○	これまでに実施した参加者アンケートの結果から、参加者の満足度はかなり高く、また、海外誘客の拡大に取り組む市町村との連携により、相乗効果が期待できることから、事業効果は高い。
<ul style="list-style-type: none"> ・ 事業の効率性（事業の実施方法の効率化は図られているか） ○：効率化は図られている、△：向上の余地がある 	
(評価) ○	宮内庁主催の外交団招待鶴飼にあわせて本事業を実施することで、参加する大使等の来県費用や宿泊費を県が負担する必要がなく、最小の費用で最大の効果を上げることができる。

(今後の課題)

<ul style="list-style-type: none"> ・ 事業が直面する課題や改善が必要な事項 <p>在京大使等の限られた滞在日程の中で、県がPRしたい観光資源や地場産業等と参加者側のニーズのマッチングを図る必要があり、事業を効率的・効果的に実施する上で最も重要である。</p>
--

(次年度の方向性)

<ul style="list-style-type: none"> ・ 継続すべき事業か。県民ニーズ、事業の評価、今後の課題を踏まえて、今後どのように取り組むのか <p>各国を代表する大使等に岐阜県の魅力を直接PRできる機会は、本事業以外になく、継続すべきである。さらに、本事業を実施することで、外国人が本県に求める観光資源（食、自然、地方の文化など）を把握することができ、海外誘客拡大の一助になると期待される。</p>
--

(他事業と組み合わせて実施する場合の事業効果)

組み合わせ予定のイベント又は事業名及び所管課	
組み合わせる理由や期待する効果 など	